

Title	買い物サービスにおける高齢者向けユーザーインターフェースの実現
Sub Title	Realization of user interface for aging people on an online shopping service
Author	太田, 裕子(Ota, Hiroko) 杉浦, 一徳(Sugiura, Kazunori)
Publisher	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科
Publication year	2011
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	近年、都市化や核家族化の影響により地域のコミュニティは薄れ、高齢者の孤立の一因となっている。社会との接点を持ちにくい高齢者にとって、社会参加や自己実現、生活の見守りのためにICT技術を利用することは非常に有効である。しかし、高齢者にとってICT機器は大きな障壁となり、大きな問題として挙げられるのがユーザーインターフェイスである。本研究では、高齢者が抵抗無く使えるユーザーインターフェイスの開発を目的とする。まずは既存サービスのユーザーインターフェイスを調査し、現状の問題点を明らかにし、それを踏まえて高齢者が今までの生活の中で慣れ親しんだ、居舗での買い物の演出を取り入れることで高齢者の抵抗を減らすことができると仮定し、インターフェイスの開発を行った。高齢者にも使い易い操作デバイスを吟味し、テレビリモコンを用いたユーザーインターフェイスとタブレットデバイスを用いたユーザーインターフェイスを作成し、高齢者を対象に評価実験を行い、評価を行った。実験とインタビュの結果、テレビリモコンを用いた方は操作に混乱をきたす高齢者が多く課題が残ったが、直感的な操作であるタブレットデバイスを用いた方は混乱も少なく好感を持って受け入れられた高齢者に抵抗の少ないインターフェイスの開発において、直感的な操作法、慣れ親しんだ演出を取り入れることが有効であると証明できた。
Notes	修士学位論文. 2011年度メディアデザイン学 第154号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40001001-00002011-0154

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2011 年度 修士論文

買い物サービスにおける
高齢者向けユーザーインターフェースの実現



KEIO MEDIA DESIGN

慶應義塾大学大学院
メディアデザイン研究科

太田 裕子

本論文は慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科に
修士(メディアデザイン学) 授与の要件として提出した修士論文である。

太田 裕子

指導教員：

杉浦 一徳 准教授 (主指導教員)

砂原 秀樹 教授 (副指導教員)

審査委員：

杉浦 一徳 准教授 (主査)

砂原 秀樹 教授 (副査)

古川 亨 教授 (副査)

買い物サービスにおける 高齢者向けユーザーインターフェースの実現

内容梗概

近年、都市化や核家族化の影響により地域のコミュニティは薄れ、高齢者の孤立の一因となっている。社会との接点を持ちにくい高齢者にとって、社会参加や自己実現、生活の見守りのために ICT 技術を利用することは非常に有効である。しかし、高齢者にとって ICT 機器は大きな障壁となり、大きな問題として挙げられるのがユーザーインターフェースである。本研究では、高齢者が抵抗無く使えるユーザーインターフェースの開発を目的とする。まずは既存サービスのユーザーインターフェースを調査し、現状の問題点を明らかにし、それを踏まえて高齢者が今までの生活の中で慣れ親しんだ店舗での買い物の演出を取り入れることで高齢者の抵抗を減らすことができると仮定し、インターフェースの開発を行った。高齢者にも使い易い操作デバイスを吟味し、テレビリモコンを用いたユーザーインターフェースとタブレットデバイスを用いたユーザーインターフェースを作成し、高齢者を対象に評価実験を行い、評価を行った。実験とインタビューの結果、テレビリモコンを用いた方は操作に混乱をきたす高齢者が多く課題が残ったが、直感的な操作であるタブレットデバイスを用いた方は混乱も少なく好感を持って受け入れられた。高齢者に抵抗の少ないインターフェースの開発において、直感的な操作法、慣れ親しんだ演出を取り入れることが有効であると証明できた。

キーワード

ユーザーインターフェース, 地域社会, 高齢者, 買い物, コミュニケーション

慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科

太田 裕子

Realization of User Interface for Aging People on an Online Shopping Service

Abstract

In recent years, isolation of the elderly has been caused by the fading of community in areas influenced by urbanization and trend towards nuclear families. For elderly people who have less contact with society, using IT as a tool for self-actualization would be very effective. However for elderly people, IT apparatus, particularly the user interface, is still a big obstruction. The aim of this research is to develop an user interface that elderly people can use without resistance. The interface was developed with the hypothesis that elderly people's resistance towards IT would decrease by emulating shopping stores, familiar to elderly people. The Developed a remote controller user interface and a tablet device user interface, and evaluated through an evaluation experiment for elderly people. Results from experiments showed that many elderly people who were still confused by the operations on the remote control. In contrast though, the tablet device was intuitive, caused less confusion, and was more favorable among the elderly. It was proved that for the development of interfaces for elderly people, introducing intuitive methods for operation and emulating a style that the elderly were familiar with was effective.

Keywords:

User Interface, Local Community, Aging People, Shopping, Communication

Graduate School of Media Design, Keio University

Hiroko Ota